	ホームルーム活動	○	生徒会活動		学校行事	別紙様式１

令和６年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立可部高等学校	校 長	平田　浩一	生徒指導主事	後藤　朋之
取組事例名	『ボランティア活動による社会・地域貢献』				

１　取 組 の 設 定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
ボランティア活動を通して、社会・地域に貢献できる人材を育成する。	豊かな心、自律性、協同力を身に付け、責任をもって行動し、他者と協力して目標を達成することができる生徒

２　展 開

取 組 の 具 体 的 内 容

① クリーン太田川清掃ボランティア
　可部高校近くを流れる川の清掃ボランティア。手袋等を持参し、地域住民の方々とゴミ拾いを行った。

② 可部南地区子ども夏祭りボランティア
可部高校近くの河川敷で行われる祭りの前日準備から、当日の手伝いまで幅広く活動。地域の協議会の方々と協力して実施した。

③ 自転車盗難防止キャンペーンボランティア
　可部駅で地域の方々と安佐北警察と連携して広報活動及びチラシ配布を行った。

④ とんど祭りボランティア
　可部地区のとんど祭りを企画するため、地域の方々や区役所職員の方々と会議をし、当日、自分たちの出したアイデアのもと、祭りを開催し手伝いを行った。

⑤ 放送部によるボランティア
　安佐北警察からの依頼で自転車盗難防止の呼びかけのアナウンスの録音を行い、可部高校近隣のスーパー、病院等で放送した。

取 組 の 創 意 工 夫

生徒にめあてをもたせるために

○事前に希望生徒を集め、これらのボランティア活動を行う意義（社会・地域貢献、異年齢とのコミュニケーション等）を伝える。

生徒の意欲を高めるために

○ボランティア活動を通して、社会・地域貢献について考え、主体的に社会参画をしていく力の育成を図る。
○積極的にボランティア活動を行うことで、地域に愛される学校を目指す。
○様々な人との交流による、コミュニケーション能力の育成を図る。

生徒の頑張りを認め、価値付けるために

○入試等の面接で、高校時代にボランティア活動に力をいれて頑張ったことを語ることができる。
○協働力が身に付き、感謝され承認される体験を通じて達成感や自己肯定感を高めることができる。

３　成 果 と 課 題

（成果）
生徒の感想「地域の方に喜んでもらい、やってよかった。また、参加したい」「様々な年齢の方々と話をすることができて、見聞が広がった」「活動が新聞に載り、様々な人から声をかけられ地域貢献していることを実感した」等々、生徒はボランティア活動に参加することにより自信になり、達成感や自己肯定感が高まったように感じる。
（課題）
アナウンス不足で、参加生徒が少なかった。ボランティアの意義を伝え、生徒会と連携して広報活動をしていきたい。